

静岡県が発行する「グリーンボンド」への投資について

学校法人愛知学院（理事長：小島泰道）は、2015年に国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）達成への取り組みとして、このたび、静岡県が発行するグリーンボンド（静岡県第2回公募公債（グリーンボンド・5年）、以下「本債券」という）に投資したことをお知らせします。

「グリーンボンド」とは、環境改善効果を有するプロジェクトに充当先を限定した資金調達のために発行される債券です。本債券は、国際資本市場協会（International Capital Market Association:ICMA）が定義する「グリーンボンド原則 2021」、及び「環境省グリーンボンドガイドライン 2022年版」への適合性について、株式会社格付投資情報センターからセカンドオピニオンを取得済みです。

本債券の発行による調達資金は、静岡県が取り組む SDGs*の達成に資する下表のグリーン化事業に充当されます。

分類	事業内容
エネルギー効率	・ 県有建築物の ZEB 化 ・ 庁舎照明や信号機の LED 化
再生可能エネルギー	・ カーボンニュートラルポートの形成
クリーン輸送	・ 公用車の電動化
気候変動への対応	・ 水害対策のための河川改修 ・ 高潮、高波対策 ほか
生物自然資源及び土地利用に係る 環境持続型管理	・ 間伐などの適切な森林整備 ・ 県営林の維持管理（林道整備）

今後も本学院は、適切なリスク管理のもとで、本債券を始めとした ESG 投資を継続的に実施し、今後も社会的責任を果たして参ります。

本件に対するお問い合わせ先
学校法人愛知学院 財務部
052-751-2561（代）